

ひび割れ低減型繊維入り無収縮モルタル フィルコンR-F

フィルコンR-Fの特長

- ▶ ナイロン繊維をプレミックスした特殊配合の無収縮モルタルです。
- ▶ ひび割れ抵抗性が従来の無収縮モルタルに比べて大幅に向上しています。
- ▶ 流動性に優れ、複雑な形状の空隙にも隅々まで充填することができます。
- ▶ プリーディング・沈下がないため、充填後空隙が残らず、確実な荷重伝達が期待できます。
- ▶ 数日で実用強度を発現する無収縮モルタルです。

フィルコンR-Fの施工要領概要

前準備

- ▶ 混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
- ▶ 混練機：ハンドミキサー・グラウトミキサー等の高速回転型をご用意ください。手練りによる混練はできませんのでご注意ください。
アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。
- ▶ その他：必要に応じ、モルタルポンプ・計量器・バケツ・コテ等。
- ▶ 清掃：打設箇所表面のレイトンス・油分・塵埃等を除去し、必要に応じてチッピング処理等を行ってください。
- ▶ 打ち水：清掃後の打設箇所表面には十分な散水を行い、湿潤状態を保って打設してください。余剰水は拭き取ってください。水洗いが不可能な場合は下地をエアブロー等で良く清掃し、プライマー処理等※を行ってください。
※当社製品「リフレトリート」をお勧めします。

施工

- ▶ 混練：混練は右図に従い、十分な攪拌を行ってください。
- ▶ 注入：注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的に行います。また、パイプレータ等による振動締固めは不適切です。
- ▶ 仕上げ：一般的には木ゴテ・金ゴテ仕上げを行います。
- ▶ 養生：表面を濡れた布等で被い、2～3日間は湿潤状態を保って初期の乾燥を防いでください。寒中施工では保温養生等により初期凍害を防止してください。

保管

- ▶ 開封後：開封後は密封して保管できますが、袋単位で使い切るようにしてください。
- ▶ 積置き：屋内保管を原則とし、降雨・湿気からなるべく遮断してください。

フィルコンR-Fとは…

フィルコンR-Fは、無収縮モルタルに要求される各種性能を保ちつつ、ナイロン繊維をプレミックスした、極めて乾燥収縮の少ない、ひび割れ抵抗性に優れた製品です。ナイロン繊維をプレミックスしていますが、従来の無収縮モルタルと同等の流動性を示します。また圧縮強度等の強度物性も従来の無収縮モルタルと同等以上です。



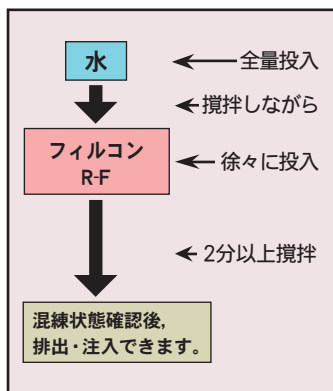
本製品は砂調合済みのプレミックス品です。水を加えて練り混ぜるだけで所定の性能が得られます。荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

配合例

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		フィルコンR-F	水	
示方	18.0	1,875(75袋)	338	1,000
袋		25(1袋)	4.5	約13.5

注) 気温等により水量は多少変動 (4.3～4.7kg/袋程度) します。使用前には必要に応じて試験練りを行い、流動性・強度等を確認してください。

混練手順



混練状況



フィルコンR-Fの性能一例

準拠した試験方法等

- 日本工業規格 (JIS)
- 東・中・西日本高速道路株式会社 (試験法312)
- 土木学会基準 (JSCCE)
- 首都高速道路公団, 土木材料共通仕様書
- 阪神高速道路公団, 土木補修工事共通仕様書
- 公共建築協会・評価基準

流動性

- 試験 : J14ロート
- 管理値 : 練上り直後において 8 ± 2 秒
- 測定値 : 右グラフを参照 →

ブリーディング

- 管理値 : 練上り2時間後において2%以下
- 測定値 : 練上り2時間後およびこれ以降もブリーディングは発生せず。

無収縮性 (試験法312)

- 管理値 : 材齢7日で収縮を示してはならない。
- 測定値 : 材齢7日において膨張側にあり, 収縮は認められない。

凝結

- 管理値 : 始発1時間以上・終結10時間以内
- 測定値 : 始発約4~7時間・終結6~9時間程度

圧縮強度

- 管理値 : 材齢3日 25 N/mm^2 以上
- 材齢28日 45 N/mm^2 以上

- 測定値 : 右グラフを参照 →

付着強度

- 試験 : 普通丸鋼φ19の引き抜き試験
- 管理値 : 材齢28日 3 N/mm^2 以上
- 測定値 : 3.5 N/mm^2 程度

フィルコンR-Fの仕様用途

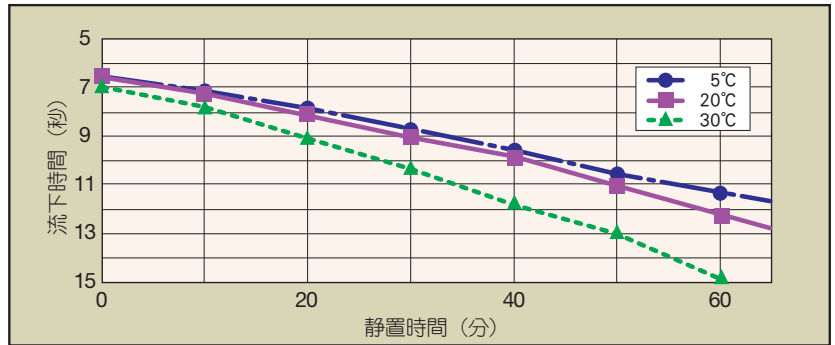
- 建築耐震補強グラウト, 橋脚耐震補強グラウト
- 橋梁咎座交換
- 断面修復工事など

※上記の管理値は, 20°Cの値です。

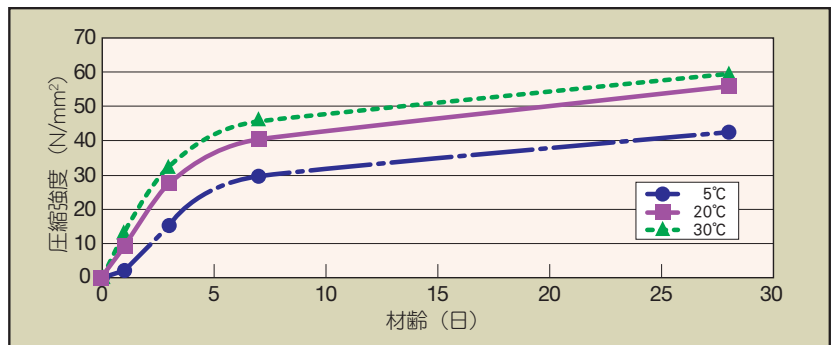
取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し, 目, 鼻, 皮膚等を刺激したり, 粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には, 保護手袋, 防塵マスク, 防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は, きれいな水で十分に洗眼し, 直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は, きれいな水で十分に洗い流してください。

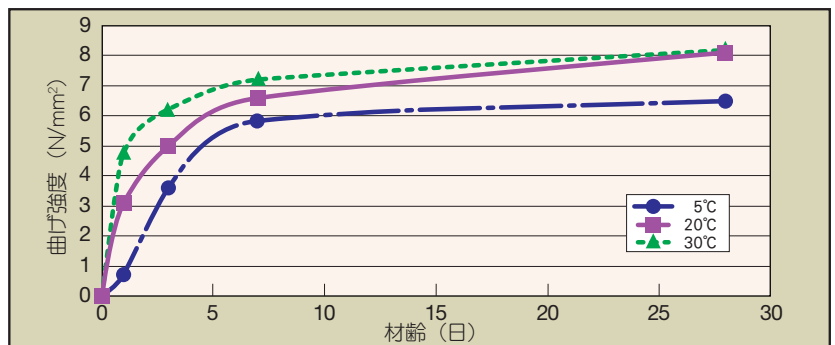
流動性経時変化の測定例



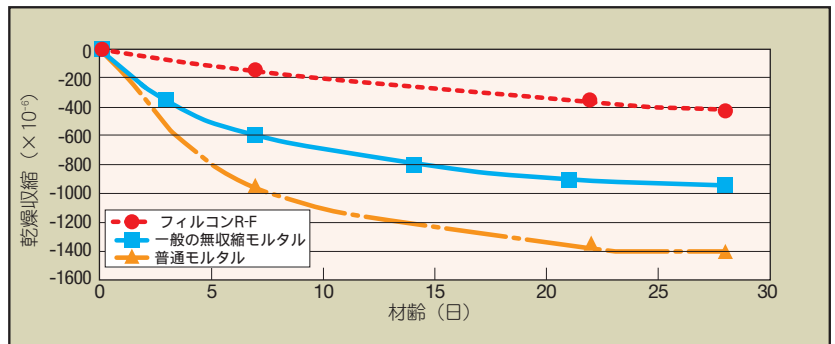
圧縮強度の測定例



曲げ強度の測定例



長さ変化試験の測定例



物性値の詳細については, 当社試験成績表等をご参照ください。
 使用および取扱いの前に, 当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。
 本カタログの記載内容については, 予告無しに変更する場合がありますので, 予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- 東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
- 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4 (アクア堂島東館15F)
- 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 (住友生命名古屋ビル3F)
- 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2 (札幌HSビル10F)
- 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1 (SS30 3F)
- 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1 (井門金沢ビル7F)
- 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4 (四国通商ビル6F)
- 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1 (広島稲荷町NKビル7F)
- 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5 (紙与博多ビル8F)

- 電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
- 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
- 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
- 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
- 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
- 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
- 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
- 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
- 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は